

きずな通信 No.54



2026年3月1日
発行 みやぎ地域づくり交流会
事務局 宮城公民館内

地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

みやぎ三世代まつり開催 会場は終始活気にあふれる

地域交流イベント「みやぎ三世代まつり」が11月2日(日)滋野堤水堂宮城体育館にて開催され、多くの来場者でにぎわいました。会場には子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、終始笑顔にまつまれた一日となりました。このみやぎ三世代まつりとは、今まで別開催していた各種団体の文化祭、いいもん祭り、のびゆくこどものつどいふれあいの広場が合わさった大規模な初めてのイベントとなり、会場では地域団体によるステージ発表、文化活動の披露が行われ、観客から温かい拍手が送られました。また、体験コーナーや展示、交流ブースなど多彩な催しが用意され、来場者同士のふれあいが深まる場となりました。本イベントは地域のつながりを育み、世代を超えた交流を促進することを目的として開催されたもので、多くの参加者の協力により盛況のうちには終了しました。今後も地域の魅力を発信し、人と人とのつながりを大切にしたい取り組み



を続けてまいります。
本イベントの開催にあたり、ご協力いただいた関係者ならびにご参加いただいた皆さまに心より感謝を申し上げます。
(大崎博之記)



ティラノサウルスレース

「第一回みやぎ三世代まつり」の中で、いいもん祭りのプログラムとして、宮城体育館西側の芝生広場にて、ティラノサウルスレースを行いました。

地域づくり交流会では初めての試みで、他の地域のイベントで行われているティラノサウルスレースのYouTubeなどを参考に準備を行いました。ティラノサウルススーツの調達をどうするか・レース会場や内容など、いろいろと検討させていただきました。

初めてのティラノサウルスレースとしては、参加者の方にご協力いただき、大変盛り上がったイベントになりました。参加者もギャラリイもティラノサウルスの動きに大爆笑。笑顔が絶えませんでした。
(前原清記)



「Facebook」と「Instagram」もご覧ください。
#みやぎ地域づくり交流会



作：しぶ
画：榊澤ヤスキ
©みやぎ地域づくり交流会

三夜沢あずき収穫体験開催

地域の親子が春に種まきを行い、育ててきた三夜沢あずきの収穫体験を11月9日（日）に実施しました。

畑づくりから成長の見守り、さらには収穫をした小豆を調理して食べるまでを参加者が体験し、季節を通して関わってきた取り組みです。

収穫体験の当日はあいにくの雨で気温も低く、肌寒い中での作業となりましたが、親子は雨具を着込み、協力しながら収穫に取り組みました。

収穫は、あずきを株ごと引き抜き、雨をしのげる軒先に運搬した後、茎から莢をもぎ取りました。子どもたちは莢をつかみ、プチプチと手に伝わる感触を

楽しみながら勢いよくもぎ取り、大人たちも一緒になって作業を進めました。

雨の中での収穫は決して楽ではありませんでしたが、収穫力ゴにあずきが少しずつたまっていく様子に、参加者の表情には達成感が広がりました。

今年の収穫量は17.5キロ。

害獣対策として畑をぐるりとフェンスで囲い開始した小豆栽培ですが、夏の酷暑・少雨などの天候条件を考えれば、十分に実りある成果となりました。今回の体験を通して、子どもたちは作物を育てる大変さや自然と向き合う大切さを学び、親子の交流や地域のつながりも深まりました。



収穫したあずき

（吉沢 佑洋記）

今後も、地域の食や農に親しむ機会づくりを続けていきます。

こうした取り組みを継続することで、地域の活性化に繋がるとともに、子供たちが自分たちのまちに愛着を持ち、地域との繋がりを感ずってもらえると思います。

調理体験講座

1月18日（日）、宮城公民館において、三夜沢あずきを使った調理体験講座（宮城公民館、みやぎ地域づくり交流会、宮城地区食生活改善推進員 共催）が行われました。

この講座は、参加者で三夜沢あずきの種をまき、除草などの世話も行い、収穫したあずきを使って、調理を行い美味しくいただくという、一連の流れに基づくものです。

さまざまな体験を通して学ぶ事の出来る企画であったと思います。

当日、収穫した三夜沢あずきを使って作ったあんこを、小麦粉の皮で巻いたクレープとして調理し、賞味させていただきました。

皆で育てて収穫した三夜沢あずきのあんこの美味しさは格別でした。



笑顔で調理



フライパンで生地を薄く焼きます

参加者の皆様にも喜んでいただき、とても楽しく有意義な時間を過ごす事が出来ました。ぜひ、今後もこのような機会を作って、地域づくりにつながっていききたいと思います。

（渡辺 弘記）



薄い生地で巻きます